

1. 知的財産による成長戦略

■ 会社概要

1. 知的財産 (IP) による成長戦略 会社概要	
企業理念『すべての人に最高の余暇を』	
(2016年3月31日現在)	
設立	1988年(昭和63年)6月
資本金	79億円
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 / 証券コード 2767
事業内容	1) キャラクターなどのIPの企画開発、関連ビジネス 2) パチンコ・パチスロ機の企画開発、販売
連結子会社	㈱円谷プロダクションなど計16社
従業員数	1,845名(連結)
株主数	6,162名

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 3

⇒ 説明会資料 3ページ

当社は1988年6月に設立しました。
資本金は79億円、東証一部に上場しています。
主な事業内容は、ゲームやマンガといったプラットフォームにキャラクターなどの知的財産を提供し、収益を上げるビジネスをしています。
創業時はパチンコ・パチスロ機の販売を主な事業としており、これは現在でも収益の柱となっています。

連結子会社は16社、連結従業員数は1,845名、株主数は6,162名となっています。

■ 当社沿革

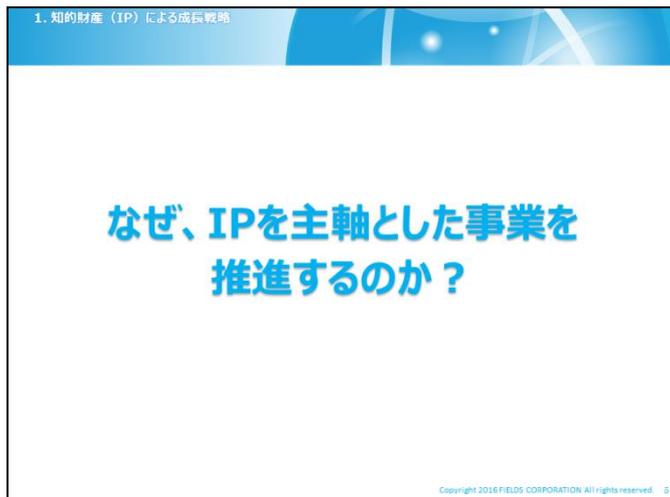


⇒ 説明会資料 4ページ

当社は1988年にパチンコ・パチスロ遊技機の流通商社として事業を開始しました。その過程で、様々なメーカー様と提携してパチンコホール様のニーズに合った商品を販売するという、業界に類例の無い立ち位置で事業を拡大してきました。
その中で得たノウハウを基にキャラクターなど知的財産を軸にした遊技機を創るようになり、現在では9メーカーと提携、遊技機の開発・販売を行っています。
2012年以降はIPビジネスに大きく舵を切り、アニメや映画、ゲームなど多様なエンタテインメントの分野に、取得・創出した知的財産をクロスメディアで展開するビジネスを加速させています。

1. 知的財産による成長戦略

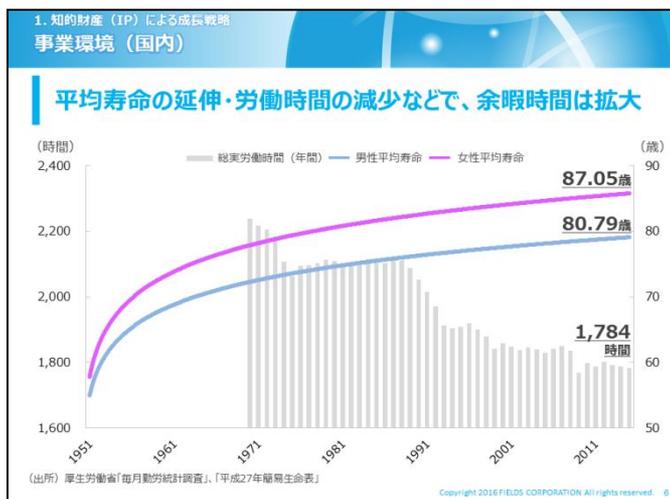
■ なぜ、知的財産を主軸とするのか？



⇒ 説明会資料 5ページ

当社が知的財産を主軸とした事業を推進する理由についてご説明します。

■ 事業環境(国内)

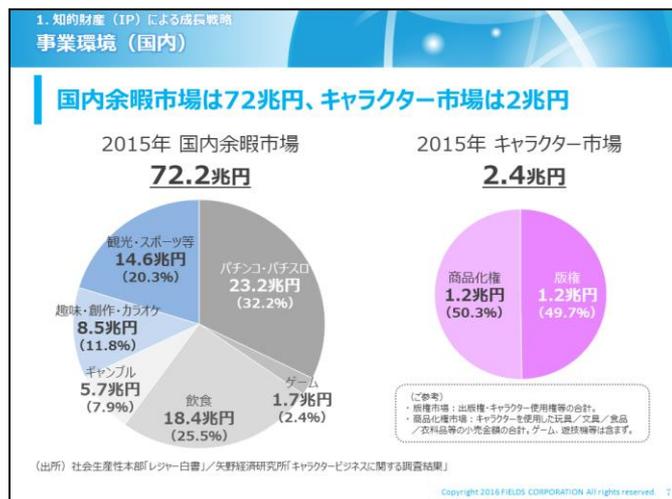


⇒ 説明会資料 6ページ

国内の平均寿命と総実労働時間については資料の通りです。日本人の平均寿命は年々伸びているほか、労働時間の減少も起因して、いわゆる衣食住以外の生活の中心に、余暇と呼ばれる時間が拡大しています。

1. 知的財産による成長戦略

■ 事業環境(国内)



⇒ 説明会資料 7ページ

国内の余暇市場、キャラクター市場については資料の通りです。子どもの頃好きだったキャラクターを大人になって違う形で楽しむことができる点で、キャラクター市場には多くの成功例があります。当社では全世界に向けたビジネスを進めるにあたって、ゲームや機械そのものを作るより、様々なプラットフォームに展開できる、多くの人に喜んでいただけるようなキャラクターを創っていくことが、大きな収益を長く続かせるための1つのポイントであると考えております。

■ 事業環境(海外)

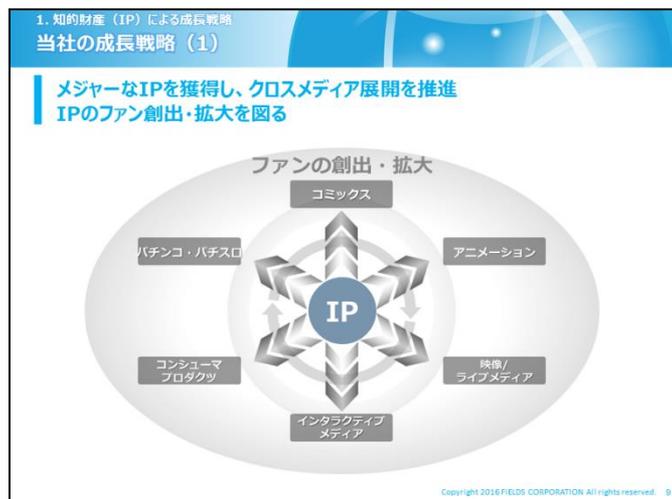


⇒ 説明会資料 8ページ

世界の環境を見てみますと、2050年までに日本の人口は3千万人減、GDPは若干増加すると言われていています。一方、海外の人口は20億人増、GDPは約4.5倍に拡大すると言われていています。とりわけ、伸び率が大きいのはアジアと言われており、当社はまずは、アジアを中心に海外展開を進めている状況です。

1. 知的財産による成長戦略

■ 当社の成長戦略(1)



⇒ 説明会資料 9ページ

当社の事業領域をご説明します。

先述の通り、キャラクターなどの知的財産を中核に据え、コミック、アニメーション、映像/ライブメディア、インタラクティブメディア、コンシューマプロダクツ、パチンコ・パチスロといった広範な分野に展開し、ファン層の拡大と収益拡大を目指すという戦略を推進しています。

■ 当社の成長戦略(2)



⇒ 説明会資料 10ページ

海外展開については、現在、世界中で映像配信が活況となっており、こうしたグローバルプラットフォームを展開する企業と協働した形で、コンテンツの展開もよりスピーディーに行える環境が整ってきたと考えています。

1. 知的財産による成長戦略

■ 当社の成長戦略(2)

1. 知的財産 (IP) による成長戦略
当社の成長戦略 (2)

ウルトラマンシリーズなど複数IPでグローバル展開が加速

主なIP	グローバル展開内容	国・地域 ※括弧内はパートナー
■ウルトラマンシリーズ	映像配信	グローバル (クランチロール) 中国 (テンセントなど)
	番組、ライセンスなど	中国、東南アジア
	ライブショー	中国、香港、タイ、マレーシア、ブルネイ、インドネシア
■月刊ヒーローズ (21タイトル)	電子書籍配信	中国 (チャイナモバイル/筆石)
	銀河機攻隊マジェスティックプリンス	テレビ放送
ソウルリヴァイヴァー	ハリウッド映画化企画	米国 (BEDFORD FALLS)
■ベルセルク	映画上映、映画祭出品	米国、カナダ
	映像配信	グローバル (クランチロール)
■GANTZ:O	映画祭出品	イタリア (ヴェネチア国際映画祭)
■アクティブレイド-機動強襲室第八係-	映像配信	グローバル (クランチロール)
■ソウル・オブ・セファス	ゲームライセンス	インド

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 11

⇒ 説明会資料 11ページ

海外展開の例として、ウルトラマンシリーズは1970年頃から様々な国へ映像配信を展開するほか、近年では中国や香港、タイ、マレーシアなどでライブショーの展開も進めています。

月刊ヒーローズでは中国での電子書籍配信を始めています。映像ではグローバルでの映像配信のほか映画祭への出品も実施しています。

また、「GANTZ:O」は2016年9月のヴェネチア国際映画祭において好評をいただきました。

■ 知的財産の展開例:ウルトラマンシリーズ



⇒ 説明会資料 12ページ

当社が保有する知的財産の展開例としてウルトラマンシリーズをご紹介します。

当社は2010年に、ウルトラマンシリーズを保有する円谷プロダクションを子会社化しました。

1. 知的財産による成長戦略

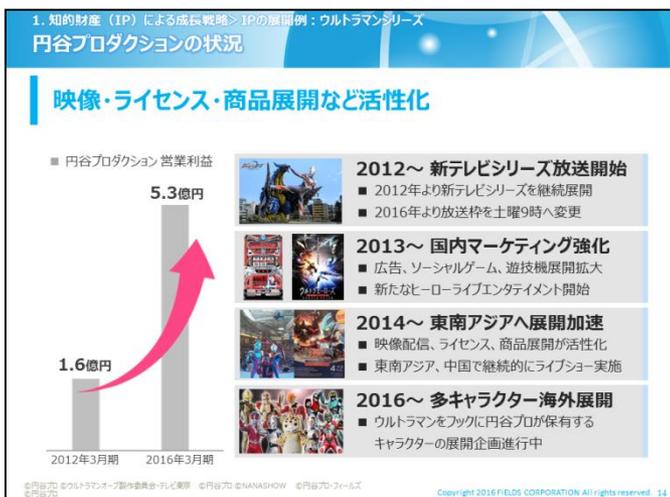
■ 知的財産の展開例:ウルトラマンシリーズ
ウルトラマンシリーズの歴史



⇒ 説明会資料 13ページ

ウルトラマンシリーズは、1966年に放送を開始し、これまで50年間の歴史を積み重ねてきました。
その間に多くのウルトラマンが創出され、幅広い層で共通の話ができる、非常に価値のある存在になってきたと考えています。

■ 知的財産の展開例:ウルトラマンシリーズ
円谷プロダクションの状況



⇒ 説明会資料 14ページ

2010年以降は、新テレビシリーズを継続展開し、玩具、ゲーム、ライブなどでクロスメディア展開を進め、収益に加えて、世界的なニーズも拡大してきていると感じています。
その表れとして、2012年3月期には1.6億円規模だった営業利益が2016年3月期には5.3億円と、3倍以上に収益が伸びている状況です。
今後も、多様なキャラクターを通じて、ワールドワイドにビジネスを展開し、さらなる成長を目指していきます。

1. 知的財産による成長戦略

■ 知的財産の展開例:パチンコ・パチスロ

1. 知的財産 (IP) による成長戦略
IPの展開例:パチンコ・パチスロ

パチンコ・パチスロのエンタテインメント化に向け、1998年以降、取得・創出したIPをパチンコ・パチスロに展開

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 17

⇒ 説明会資料 17ページ

当社が取得した知的財産のパチンコ・パチスロへの展開についてご紹介します。

当社では、パチンコ・パチスロが本当に世の中に必要とされる産業になるためには、どのエンタテインメントよりもパチンコ・パチスロが面白いと言われるようなエンタテインメント性を持つことが最大のポイントであると考えています。パチンコ・パチスロならではの演出性を高めるべく知的財産を活用して、例えば映画を観るよりも楽しい時間を過ごせたとされるような遊びにすべく、力を注いでいます。

■ 知的財産の展開例:パチンコ・パチスロ
当社販売実績

1. 知的財産 (IP) による成長戦略 > IPの展開例:パチンコ・パチスロ
当社販売実績

IPを活用した商品展開で、販売シェア約10%へ

年次	当社販売台数	当社販売シェア
2014年3月期	39万台	11.3%
2015年3月期	39万台	12.0%
2016年3月期	28万台	9.8%

	エヴァンゲリオンシリーズ ■ 2004年12月より継続販売 ■ 累計20タイトル/217万台
	ウルトラマンシリーズ ■ 2013年12月より継続販売 ■ 累計4タイトル/10万台
	コミック/アニメシリーズ ■ サラリーマン金太郎、ガンダムなど ■ 累計57タイトル/108万台
	ゲームシリーズ ■ カプコン社/バンダイナムコ社版權など ■ 累計33タイトル/89万台

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 18

⇒ 説明会資料 18ページ

当社のパチンコ・パチスロにおける販売実績をご説明します。エヴァンゲリオンシリーズはこれまでに20タイトルをリリースして、累計で217万台を販売しました。ウルトラマンシリーズは4タイトルをリリースして、累計で10万台を販売しました。その他の実績については、資料の通りです。

1. 知的財産による成長戦略

■ 知的財産の展開例:パチンコ・パチスロ
直近の業界動向と、当社の販売見通し



⇒ 説明会資料 19ページ

直近の業界動向と、当社の販売見通しについてご説明します。エンタテインメント性を高め、射幸性を下げるための規制や規則の変更に対応するために、市場全体として既存の遊技機の撤去・回収や、新台開発の変更に取り組んでいる状況です。そのため各社とも厳しい状況が続いていますが、今後は、志の高いメーカー様、ホール様が市場を牽引し、エンタテインメント性を高めることで、逆に良い流れが来て、業界全体が活性化していくものと予想しています。

2. 業績推移

■ 業績推移

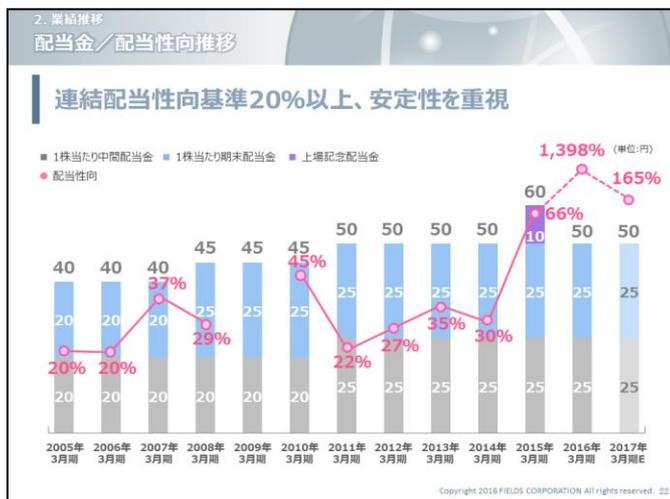


⇒ 説明会資料 21ページ

業績推移はグラフの通りです。

今期の業績予想として、売上高は1,150億円、営業利益、経常利益ともに20億円を計画しています。将来的には営業利益100億円を一つの目標としていますが、パチンコ・パチスロの規制等の影響を鑑みて、直近は足固めの時期と捉えています。今後の収益イメージですが、中長期的にはパチンコ・パチスロとその他の収益を同等のレベルにしたいと考えています。そのためのポイントとして、有力な知的財産の取得または創出、知的財産の展開先の拡大と価値最大化、そして展開地域をグローバルも含めて拡大させることを考えています。

■ 配当金/配当性向推移



⇒ 説明会資料 22ページ

配当金/配当性向の推移はグラフの通りです。

当社は、連結配当性向基準20%以上、安定性を重視した配当を基本方針としており、業績の伸長とともに配当の基準も上げていきたいと考えています。

3. さいごに

■ さいごに

3. さいごに
企業理念の実現へ

企業理念「すべての人に最高の余暇を」の実現に向けて

私たちフィールズは、

「すべての人に最高の余暇を」という企業理念の実現に向けて、
世の中の人々の心を豊かにする商品やサービスの提供に努めてまいります。

事業活動を通じた **企業の社会的責任 (CSR)** を果たし、
社会のさらなる成長と発展に貢献してまいります。

Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 24

⇒ 説明会資料 24ページ

さいごに、当社は「すべての人に最高の余暇を」という企業理念を掲げています。そして、この実現に向けて、引き続き知的財産を活用した商品やサービスの提供に尽力し、また、事業活動を通じた企業の社会的責任(CSR)を果たしていきます。

■ ウルトランマン基金について

3. さいごに
ウルトラマン基金について

**2011年 東日本大震災被災地支援向け「ウルトラマン基金」を設立
これまでに1万人以上の子どもたちと触れ合う**

2011年
東日本大震災被災地への支援訪問活動
宮城県：石巻市、南三陸町、気仙沼市、東松島市、女川町
2014年
福島県：須賀川市、郡山市、いわき市、福島市、富岡町
岩手県：西古市、大槌町、千草郷：旭市

『ヒーローキャラバン〜子供たちの心に光を〜78 places in 東北』
79か所の保育園や幼稚園への訪問を実施。
『東日本大震災復興チャリティイベント元氣祭り2014』
アントニオ猪木氏とのコラボレーションにより開催。

寄付金等の贈呈
東北3県に寄付金贈呈、自治体にマイクロバス寄贈

2015年
**活動範囲を、被災地を含む全国の
「支援を必要としている子どもたち」へと拡大**

『東北キャラバン2015』
東北地方の保育園、こども病院など訪問。
『関東・東北豪雨災害 茨城県支援』
茨城県内の保育園(所)や幼稚園及び児童養護施設、市役所への訪問を実施。
2016年
『平成28年熊本地震災害 熊本県支援』
熊本県内の小学校、保育園(所)や幼稚園、避難施設、県庁、市役所、村役場への訪問を実施。



©フィールズ Copyright 2016 FIELDS CORPORATION All rights reserved. 25

⇒ 説明会資料 25ページ

CSR活動の取り組みの一つを紹介します。
当社グループは、2011年の東日本大震災発生後に「ウルトラマン基金」を設立しました。基金では、東日本各地の被災地や、平成28年熊本地震災害に見舞われた子どもたちへの支援活動を行っているほか、児童養護施設やこども病院への訪問など継続的な活動をしています。
今後も、当社は社会のさらなる成長と発展に貢献すべく事業活動及び事業活動を通じたCSR活動に積極的に取り組んでいきますので、引き続き、よろしくお願い致します。

(スピーカー:代表取締役社長 繁松徹也)